

別紙 審査項目

項目	審査の視点	配点
事業理解 及び 実施体制	<ul style="list-style-type: none"> 事業の目的や仕様書を踏まえ、具体的かつ的確な提案がなされているか。 各業務について具体的な実施方法が示され、実現可能な提案となっているか。 事業目的及び仕様内容を踏まえ、予算の範囲内で効果的な工夫があるか。 業務を実施するための十分な組織体制及び人員が確保されているか。 過去に類似業務を受託した実績があるか。また、過去の類似業務の実績から判断して、本業務の効果的な実施が期待できるか。 	20点
	①ヘルプデスクの設置 <ul style="list-style-type: none"> 開設時間は、常時電話対応できる体制が整っているか。 適切な履行場所が提案されているか。 導入予定の電話機の回線や機能は十分なものか。 令和8年4月1日から運営ができる体制となっているか。 	30点
	②統括責任者の配置 <ul style="list-style-type: none"> 困難事例等があった場合に相談員のフォローバック体制は構築されているか。 相談員の出退勤・出張等の勤務スケジュールは十分な管理体制となっているか。 月次、年次の業務報告書等は適正な管理内容であるか。 配置職員および県担当者との連絡体制は十分であるか。 	15点
個別業務	③ヘルプデスク相談員の配置 <ul style="list-style-type: none"> 仕様書「7（2）④ ヘルプデスク相談員の要件」を満たす相談員の配置が可能となっているか。 就学支援金の申請スケジュールに基づき、妥当な配置が提案されているか。 相談員が適切に対応内容を記録する工夫がなされているか。 	10点
	④その他の業務 <ul style="list-style-type: none"> 相談員を対象とした勉強会や研修を定期的に実施することとしているか。 学校担当者を対象とした研修が企画されているか。 マニュアルや広報物等の作成に関して、十分なノウハウがあるか。 	5点
	⑤業務にあたっての創意工夫 <ul style="list-style-type: none"> 本業務実施にあたって、積極的な提案内容となっているか。 	10点
経済性	<ul style="list-style-type: none"> 企画内容に対して妥当な見積内容となっているか。 各経費について積算の根拠が示されているか。 	5点
事業者の 取組	①熊本県プライム企業の認定を受けている。	1点
	②障害者支援施設等からの物品及び役務の調達実績（令和6年度以降）がある。	1点
	③事業活動温暖化対策計画書制度の対象事業者（義務及び任意）、エコアクション21、RE100、再エネ100宣言 RE Actionのいずれかの認証等、または④森林吸収量認証書の交付実績（令和6年度以降）がある。	1点
	⑤熊本県SDGs登録制度に登録している。	1点
	⑥パートナーシップ構築宣言に登録している。	1点
		100点